

平成22年度 第1回鎌ヶ谷市消防委員会会議録

1 議案

議題1 平成22年度事務事業進捗状況について

議題2 消防概況について

2 開催日時

平成22年6月15日（火）10時00分から11時00分

3 開催場所

鎌ヶ谷市消防本部2階会議室

4 出席者

（1）委員

鈴木定夫委員（委員長）、岡田通委員（副委員長）、末永富貴子委員、
阿部万里亜委員、山田静雄委員

（2）事務局

澁谷誠幸消防団長、皆川保則消防長、川島正二郎次長、西村繁警防課長、
高山悟予防課長、林正義通信指令室長、皆川宏幸消防総務課長、
矢ノ目健二庶務係長、湯浅貴朗主任消防主事、白井祐介消防主事

5 開示 不開示について

開示

6 発言の要旨

皆川課長	委員会条例第5条による会議成立を報告、傍聴の申し出がなかったことを報告した。
皆川課長	委員会条例第5条の定めにより委員長が議長を務める事を伝え、鈴木委員長に挨拶を求めた。
鈴木委員長	あいさつ。
皆川課長	消防長に挨拶を求めた。
皆川消防長	あいさつ。
皆川課長	事前申し合わせにより任期中は、継続として山田委員及び末永委員を署名人とすることを伝えた。
鈴木議長	議案1平成22年度事業進捗状況について説明を求めた。
矢ノ目係長	事業実施内容として、職員研修、火災予防、救急救命、消防団、施設等を説明した。
鈴木議長	引き続き、議案2消防概況について説明を求めた。
矢ノ目係長	消防概況について説明した。
鈴木議長	各委員に質問を求めた。
岡田委員	職員研修の消防大学校および消防学校へ派遣される職員の選定基準・選定方法について質問した。
皆川課長	鎌ヶ谷市消防本部研修運用要綱に基づいて、管理職以上の職にある者をもって組織する研修運営委員会によって選考されると回答した。
鈴木議長	消防大学校の科目別派遣日数について質問した。
皆川課長	各科目別に派遣日数を回答した。
阿部委員	119番通報の仕方について質問した。
通信指令室長	災害が発生している場所（住所）をしっかりと確認した後、119番通報をし、慌てず落ち着いて職員の質問に答える。また、携帯電話での通報の場合、管轄署へ直接繋がらず転送される場合があるため、災害発生場所は確実に伝えるようにと回答した。
末永委員	鎌ヶ谷市の火災の原因について質問した。
予防課長	火災の原因は、例年放火及び放火の疑いが一番多く、続いてコンロ、たばこ、ストーブなどが年によって入れ替わっている状況であると回答した。
末永委員	小さい子供のライター・マッチなどの原因による火災予防について質問した。
予防課長	小さい子供はライターやマッチに興味をもち、さわっているうちに火がついてしまうこともある。最近では、ロックの付いたライターなども開発されているが、まだまだ普及されていない。ライターやマッチなど、親が子供の目の届かない場所へしまっておくことが火災の予防になると回答した。
鈴木議長	出火率について質問した。
予防課長	出火率とは全国統一の統計によるもので、人口一万人あたりの

出火件数であると回答した。

山田委員 今年度の操法大会出場分団の選考方法と訓練開始時期について質問した。

警防課長 操法大会の出場分団は、昭和61年度から輪番制を採っており、昨年度でちょうど3周したため平成21年9月の役員会議において、今後の出場分団について話し合われた。今後は基本的に輪番制とするが、立候補を優先して出場分団を決定することにし、今年度は第一分団が立候補をしたため、役員会議にて承認された。訓練については昨年11月から開始し、訓練回数は全体で60回ほどになると回答した。

山田委員 今年度の出場チーム数及び全国大会の種目並びに開催地について質問した。

警防課長 今年度、東葛飾支部の出場チーム数はポンプ車の部8チーム、小型ポンプの部7チーム、いずれも上位2チームが県大会出場となる。また、全国大会は愛知県蒲郡市にて開催され、今年度の大会種目は小型ポンプだけであると回答した。

岡田委員 鎌ヶ谷市防火管理者講習会の受講状況について質問した。

予防課長 鎌ヶ谷市の防火管理者講習会の定員は50名で、原則市内在住・在勤者となっており、市内在住・在勤者以外の受講者は全体の1、2%程度である。申込期間が一週間あるが、2日で定員になってしまうため、他市の消防本部にて受講するようお願いしている状況であると回答した。

鈴木議長 他に質問等無く承認を求めた。

各委員 異議なしの声が発せられた。

鈴木議長 議案、質問等が無く会議閉会を宣言した。

7 会議録署名人の署名

以上会議経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成22年6月30日

氏名 山田 静雄

氏名 末永 富貴子